

| 科目名 | 開講期間 | 必修/選択 | 担当者名 |
|-------------------------|------|-------|------|
| どのようなプロフェッショナルになるか -総括- | 後期 | 必修 | 田村 豊 |

【授業の目的と概要】

全ての授業を振り返り、どのようなことを学び、考えたのか。残された課題。気づくことができた新たな挑戦すべき領域などを明らかにする。授業では、それぞれの参加者の意見をそれぞれの参加者同士で評価し、今後の活動にどのように活かしていけるのか。また将来に生きるプロフェッショナルとしての課題とは何か、討論を行い、授業をまとめとする。

【授業計画】

※実践的な授業方法…①企業等、②双方向、③実務家教員・実務家、④実地

| 回数 | テーマ | 実践的な 授業方法 |
|----|--|--------------|
| | 授業内容の概要 | |
| 1 | どのようなプロフェッショナルになるか① | — |
| | 各受講者はプログラム全体の学びを振り返り、自分の役割とこれからの課題をまとめ、職場の上司や経営者、その他の科目担当者の前でプレゼンテーションを行う。 | |
| 2 | どのようなプロフェッショナルになるか② | — |
| | 各受講者はプログラム全体の学びを振り返り、自分の役割とこれからの課題をまとめ、職場の上司や経営者、その他の科目担当者の前でプレゼンテーションを行う。 | |

【授業の到達目標】

これまでの授業を通じて得られた知見、分析手法を受講者同士で意見交換を行うことで、学習内容を客観的に分析・検討でき、自分のこれからの成長にとって必要な課題と今回の受講の効果の意味を発表することができる。

【成績評価方法】

授業に参加する際の論点の立て方、議論の方法、授業に対する取り組み姿勢を含め、プレゼンの内容、構成、材料の選択と設定などの視点から評価を行う。

【テキスト・参考図書】

特になし。